

HIC通信

Hiroshima International Center

Vol. 72
April 2011

「雪生活体験」を開催しました!

1月30日(日)に今年度最後の日本文化理解促進事業となる「雪生活体験」を美和東ふるさと振興協議会、北広島町、北広島町女性会美和東支部と共同で開催しました。申込総数114名から選ばれた15カ国1地域43名の在広外国人に参加いただき、北広島町溝口地区の方々と交流を深めました。

当日は、幸運にもたくさんの雪が降り、参加者は思う存分雪遊びを楽しむことができました。また、地元料理と外国料理を囲んだ交流会や地元芸能、外国人による母国紹介も実施しました。

交流会では、外国人参加者有志の方に、チキンカレー(インド)、エビチリ(中国)、揚げ春巻き(ベトナム)、ストロベリーチーズケーキ(ニュージーランド)をふるまつていただきました。どの料理も大変好評で、あっという間になくなってしまいました。

外国人による母国紹介では、中国のひょうたん笛の演奏や韓国の歌披露、イギリスのダンスを全員で踊ることで、地元溝口地区の方々にも外国文化に触れていただき、より交流を深めることができました。

また、地元の方々による踊りと神楽は、外国人の方たちにとって大変興味深かったようで、その美しい舞と迫力のある演技に見入っていました。

(H I C 鈴)



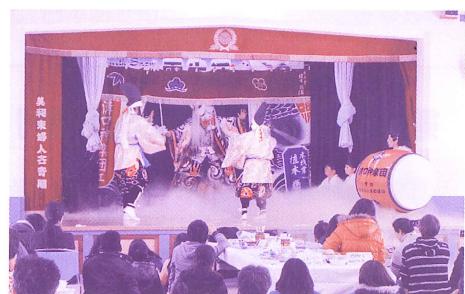
2011年干支の、「うさぎ」の雪だるまをつくって記念撮影



母国の料理に腕を振るう外国人参加者



ひょうたん笛(中国)の演奏



迫力満点! の神楽

◆目次

- 2面 交流部だより
- 6面 国際プラザニュース
- 7面 こちらJICAデスク
- 8面 サミット加盟団体だより

- 9面 Upcoming Events News
- 10面 Hello Hiroshima
- 12面 HICからのお知らせ 他

「ひろしま国際塾第3回公開講座」の開催と下期ゼミ国内NGO視察を実施しました

1月12日㈬、「第3期ひろしま国際塾」の3回目となる公開講座を駐日モンゴル国大使館 経済・商務担当参事官 ダンバダルジャー・バッヂヤルガル氏をお招きし、「今日のモンゴル国と日経済関係」というテーマで開催しました。石炭・ウラン・レアメタル・リアースをはじめとする鉱物資源で世界から注目されているモンゴル国について、現在の経済状況を踏まえ、モンゴル国と日本の経済関係についても講義下さいました。聴講した参加者からは、今後のモンゴル国の発展や日本との経済関係に期待をする声が多く寄せられました。

また、下期ゼミナールでは、1月15日㈯にエフエムふくやま（福山市）で多言語放送に取り組む「びんご多文化まちづくりチーム」と神石高原町の仙養ヶ原ふれあいの里で救助犬訓練に取り組むNPO法人ピースウィンズ・ジャパンを訪問しました。

午前中に訪問した「びんご多文化まちづくりチーム」は、外国人との多文化共生に取組み、またエフエムふくやま（福山市）で多言語放送に取り組んでいる団体です。当日は、代表の村田様や福山市の多文化共生担当者の方に福山市での多文化共生のまちづくりについて説明していただきました。参加した11名の皆さんは熱心にお話を伺うとともに積極的に質問をし、福山市での多文化共生の取組みについて理解を深めました。

午後は、神石高原町で救助犬訓練に取り組むNPO法人ピースウィンズ・ジャパンを訪ね、現在トレーナーとして救助犬の育成を行っている藤崎様の案内のもと、訓練施設の見学や救助犬訓練プロジェクトについて説明を伺いました。訪問時は、救助犬として活躍が期待される犬たちはまだ子犬で、訓練施設も工事中でしたが、完成したプロジェクトではなく、現在発展中のプロジェクトを視察できたということで、参加者は皆、考えさせられる視察だった、今後応援していきたいと感想を述べていました。

(H I C 鈴)



モンゴル国と日本の経済関係について講義される
講師のバッヂヤルガル氏



福山市の多文化共生の取組みについて
熱心に話を聞く参加者たち



トレーナーの藤崎さん(ピースウィンズ・ジャパン)
と将来救助犬として活躍が期待される子犬

第4期「ひろしま国際塾」塾生を募集します

国際理解講座、第4期「ひろしま国際塾」を5月11日㈬に開講いたします。

今年度は「世界の社会格差と教育の役割」をテーマに、教育の役割からアプローチしていきます。様々な国を例に大学教授をはじめとする研究者やNGOの方々をお招きし、学びます。

開催日時：5月11日～8月3日（毎週水曜日18:30～20:00）、修了式9月28日㈬（予定）

開催場所：財ひろしま国際センター 交流部 交流ホール

募集人員：80名（先着順）

講座内容、受講料等につきましては、4月上旬にH I Cにて配布いたします募集チラシをご参照ください。

「平成22年度 ひろしま国際交流サミット総会・分野別会議」を開催しました

2月22日㈫に広島グランドインテリジェントホテルにて「平成22年度ひろしま国際交流サミット総会・分野別会議」を開催いたしました。当日は、62団体82名（講演会は一般参加者含め102名）の方にご参加いただきました。総会に続き、講演会、分野別会議、交流会を開催しました。

講演会の講師には、長岡市国際交流センター「地球広場」センター長 羽賀 友信 氏をお迎えし、「国際交流から多文化共生そして国際協力へ～防災にも役立つ日常の信頼関係～」をテーマに中越大地震の体験など豊富な経験を基に人間関係、国際交流の重要性を大変分かり易くご説明いただき、聴衆が惹き込まれました。

参加者からは「多文化共生は今後さらに重要になってくると感じました」「国際化することは地域化すること」「実体験談がとても説得力のあるお話で、多くのヒントを得ました」「生命が洗われたような感銘を受けました」など多くの声をいただきました。

(HIC 佐藤)



サミット総会の風景



講師の長岡市国際交流センター「地球広場」
センター長 羽賀 友信 氏

「平成22年度 こども国際教室」を開催しました

「平成22年度 こども国際教室」は、好評のうちに2月18日㈮に全日程を終了しました（H22年度実績：計12会場、参加児童数延べ799人）。訪問先の学校ではどこも温かく迎えていただき、また、授業中の児童たちの目の輝きと終了後の児童たちと講師との別れの場面にはいつも感動させられました。

「こども国際教室」は、次代を担う子ども達に国際理解への関心を高めてもらうことを目的に、平成6年度から開始した事業で、これまで延べ300校以上で開催してきました。平成23年度も5月からの開催予定で4月から募集等の準備を開始します。「こども国際教室」にご協力いただく講師（外国人ボランティア、県国際交流員）の願いは、自分たちの国に興味、関心を持ってもらい、好きになってもらうことです。

HICでは、こども国際教室にご協力いただく外国人ボランティアを募集しています。日本語で母国のことや経験を紹介できる方は講師になってみませんか。お気軽にお問合せ下さい。

(HIC 野口)



韓国の場所はどこかな？



インドの民族衣装サリーはこーんなに長い！



英語と日本語の違いについて。

カンボジア・スタディツアーレポート

～カンボジア復興のために～

2月13日から2月20日まで、ひろしま国際センターとJICA中国国際センターの共催による「カンボジア・スタディツアーレポート」に同行しました。将来の国際協力・平和貢献を担う人材育成を目的としたこのツアーレポートは今回で7回目となり、参加者も累計で139名にまで達しました。今回のスタディツアーレポートは社会人2名（男性）と大学生19名（男性5名・女性14名）、高校生1名（女性）の計22名で実施しました。ツアーレポート前半は、建築中の高層マンションやショッピングセンターが点在し、現代のカンボジアを見る事ができる首都プノンペン、後半はアンコールワット等カンボジアの歴史を感じるシェムリアップ州にそれぞれ滞在し、視察先を訪問しました。

視察初日はJICAカンボジア事務所を訪問し、カンボジアでの事業概要や課題等について説明をして頂き、翌日には6名のJICA関係者の方々と夕食を兼ねた交流会を催し、大変有意義な時間を過ごすことができました。また、本年度も広島県復興支援プロジェクトの活動現場であるタケオ州教員養成学校を視察し、授業見学や現地で活動する2名の青年海外協力隊員と交流会を行い、若い隊員の活躍は、参加者にとって良い刺激になったのではないでしょうか。

プノンペンでの最終日には、ポル・ポト政権時代についての理解を深めるため、キリングフィールドやツールスレーン収容所跡を視察しました。収容所からの数少ない生還者の1人、チュム・メイさんに当時の状況についてお話を頂き、わずか数十年前に起きていた悲惨な出来事を参加者一同真剣な面持ちで聞き入っていました。

後半はシェムリアップ州に移動し、ササースダム中核小学校を訪問しました。当日は、あいにくの休校日でしたが、校長先生のご協力で、たくさんの児童たちを集めて頂き、サッカーやゴムとび等で交流を図ることができました。また、そこでは、広島県の支援によって昨年10月に設置された太陽光発電を見せて頂き、児童たちの健康状態がパソコンで管理できるようになりました。しかし、児童数の増加により、パソコンの台数や乾季時での水不足で井戸数が足りない等の悩みも伺いました。

ポル・ポト時代に、多くの伝統等が失いかけた中、カンボジア人の手でそれを復活させようと支援する多くの方々の思いは、きっとカンボジアの子どもたちが受け継いでくれるにちがいありません。また、このツアーレポートを通じて、参加者の中から将来、国際協力・平和貢献の分野で活躍する人材が生まれることを楽しみにしています。最後に、ツアーレポート実施にご尽力を頂きました多くの関係者の方々にお礼を申し上げます。

(HIC 當麻)



青年海外協力隊員との交流会
－タケオ州教員養成学校にて－



月 日	行 程
2/13(日)	広島⇒福岡⇒バンコク⇒プノンペン
2/14(月)	カンボジアひろしまハウス視察 NGO Women Development Association活動視察 JICAカンボジア事務所訪問 現地日本語学習者と交流会
2/15(火)	広島県復興支援プロジェクト（タケオ州教員養成校）視察 シニア海外ボランティア活動（国立小児病院）視察 現地JICA関係者との交流会
2/16(水)	キリングフィールド、ツールスレーン収容所跡視察 プノンペン⇒シェムリアップ
2/17(木)	地雷博物館視察 アンコールクッキー、アンコールワット視察
2/18(金)	クメール伝統織物研究所視察 ササースダム中核小学校視察 ササースダム村の児童宅訪問
2/19(土)	トンレサップ湖の水上生活、スナダイクマ工孤児院視察 アーティザン・アンコール視察 シェムリアップ⇒バンコク
2/20(日)	バンコク⇒福岡⇒広島



当時の様子を語るチュムさん
－ツールスレーン収容所跡にて－



いざ、アンコールワットへ！

HIC外国人総合相談窓口 専門相談員紹介

HICは広島県内で暮らす外国人の皆様が、安心して暮らしていただけるよう「外国人総合相談窓口」を開設しています。この窓口では、在留資格や社会保険・労働問題などの専門的な相談や暮らしに関する相談を、中国語をはじめとする6カ国語で提供しています。

外国人総合相談窓口が、皆様にとってより身近なものとなるよう、窓口で相談業務にあたっていただいている専門相談員の方々を、前号に引き続き紹介します。



【相談体制】

- ①名前（ふりがな）
- ②国籍・専門分野・対応する相談内容
- ③専門分野に取り組んだきっかけ
- ④専門相談受付日時・相談内容
- ⑤ひと言

（専門分野）

- ・在留資格（VISA他）（火・木・土）
- ・社会保険・労働問題（火・木・土）

（通訳）

- | | |
|-------------|----------------|
| ・中国語（火・木・土） | ・ポルトガル語（火・木・土） |
| ・韓国語（木）の午前 | ・スペイン語（木・土）の午前 |
| ・英語（土） | ・フィリピン語（火）の午前 |

フリーダイヤル 0120-783-806

携帯電話からは 082-541-3888（直通）

※相談時間（火・木）9:00～12:00、13:00～16:00
(土) 9:00～12:00



①松村 雅子（まつむら まさこ）

②・日本

- ・労働法務に関する相談・指導・講演・研修講師
- ・人事労務管理の相談および手続き業務、職場のメンタルヘルス支援、労働・社会保険に関する相談
- ・社会保険労務士、産業カウンセラー、心理相談員、キャリアカウンセラー

③行政機関の相談員をしている際に、外国の方の賃金不払いや解雇に関する労働相談を受けた事があり大変感謝されたことがきっかけです。

④毎週火・木曜日 9:00～12:00、13:00～16:00 土曜日 9:00～12:00

⑤広島にはたくさんの外国の方が暮らしていますが、文化や法律の違いから働くうえで多くの悩みを抱えている方がたくさんいらっしゃいます。そのような外国の方が楽しく生活できるようにアドバイスできればと思っております。気軽に相談してください。

①川住 サンドラ（かわすみ さんどら）

②エル.サルバドル スペイン語通訳

③スペイン語の通訳をしている時に日本語が分からぬで困っている、スペイン語圏の外国人がたくさんいることを知って、母国語と自分の経験を活かして役に立ちたいと思っていました。

④毎週 木曜日 9:00～12:00 土曜日 9:00～12:00

⑤広島には、遠い故郷を離れて暮らしているたくさんの外国人がいます。その多くは日本語を理解できないため、区役所などの手続きに困ったり仕事や学校生活で悩んでいます。ひろしま国際センターの「外国人総合相談窓口」で労働、税金や在留資格専門の先生と一緒に外国人のみなさんの悩みを少しでも解決できるように努めています。



ワールドクッキング教室受講者 募集中

ひろしま国際プラザでは、広島に在住している外国の方が、自国の料理と文化を紹介する「ワールドクッキング教室」を開催します。
月に一度世界の料理を作り、国際交流しませんか。

【概要】

- ・日程…5月～9月 火曜日クラス・木曜日クラス
(原則第3火曜日・第4木曜日)
- ・時間…10:00～14:00
- ・参加費用…7,500円(5回分)
- ・定員…各20名
※詳しくはお問い合わせください。



バングラデシュ料理(平成23年2月)

平成23年度 国際交流ボランティア募集中

研修部では、ひろしま国際プラザ(東広島市鏡山)で行われる様々な交流事業でお手伝いいただける通訳・事業協力ボランティアを募集しています。(「なんでもボランティア」等のボランティア登録をお願いします。)

★通訳ボランティア(※の教室等は、マニュアルをお渡しします。)

種類	内容	日程
華道・書道教室(年数回)	各教室の講師の通訳※	月曜日 19:00～21:00
茶道・着付け教室(年数回)	各教室の講師の通訳※	金曜日 19:00～21:00
宮島バスツアー(年数回)	厳島神社等の案内※	土曜日 9:00～17:30(昨年度は6・9・11・2月)
酒まつり(昨年度は10月9日)	酒蔵通りの案内	酒まつり期間中の午前または午後
日本文化体験デー(年2回)	色々な日本文化体験ブース(おりがみ等)での通訳	土曜日 10:00～14:00(昨年度は10月・2月)
クッキング交流会・日本料理教室	講師の通訳※	土曜日 10:00～14:00
ワールドクッキング教室	講師の通訳	第3火曜日・第4木曜日 10:00～14:00

★事業協力ボランティア

種類	内容	日程
茶道・着付け教室(年数回)	各教室の講師補助	金曜日 19:00～21:00
国際理解講座(年4回) 「ねえ聞いて!ワタシのお国自慢」	外国人研修員が出身国を紹介するセミナーの進行・運営	土曜日 13:30～16:00 (英語コミュニケーション能力が必要です。)

情報センター・図書室よりお知らせ

情報センター・図書室は研修員のみならず一般県民の皆様にも閲覧して頂くことができます。当図書室の特長は、外国語雑誌(27誌)、外国語新聞(8紙)の充実と、各国の情報・国際協力や語学学習に重きを置いた蔵書(約13,600冊)にあります。他にも日本語学習にもご利用いただけるDVD(約860枚)、ビデオ(約1,470本)、世界の民族音楽から日本の童謡まで多種多様な音楽CD(約1,700枚)を揃えております。

また、情報センター・図書室では季節ごとの折紙の展示を行っております。日本折紙協会認定講師ハーレー・静代先生が折った作品です。一見の価値あり! ぜひご来館ください。



舞子

椿

雛人形

恐竜

★お申込み・問合せ先

財団法人ひろしま国際センター研修部

〒739-0046 東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内

(電話082-421-5900 FAX082-421-5751)

・事務室開室時間 月～金 9:00～18:00

・情報センター・図書室開室時間 毎日 10:30～19:00(平日は13:30～14:30休室)

URL : <http://hiroshima-ic.or.jp/hip/>

E-mail : hicc@hiroshima-ic.or.jp



広島から世界のフィールドへ!! 期待の4人!! 青年海外協力隊2名(平成22年度4次隊)、シニア海外ボランティア2名が3月下旬に出発!
広島県から、グアテマラやマレーシアなど4カ国へ!



《青年海外協力隊》(左から氏名・赴任国・職種)

安江 香	グアテマラ	栄養士
茗荷谷文枝	エクアドル	幼児教育

《シニア海外ボランティア》(左から氏名・赴任国・指導科目)

宗永 幸雄	マレーシア	職業訓練校就職課支援
小林 光廣	ネパール	警察車両管理

赴任中の広島県出身 JICAボランティア人数

区分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	36	37	73
シニア海外ボランティア	11	3	14
日系社会青年ボランティア	0	1	1
日系社会シニアボランティア	0	1	1

平成23年2月28日現在

～国際協力出前講座～

青年海外協力隊OB・OGやJICA関係者が、開発途上国や国際協力に関する話を「出前」します。その名も「国際協力出前講座」。学校や地域活動の関係者の皆さん、「ご注文」をお待ちしています。

ご相談は、HIC配置の国際協力推進員までお気軽にどうぞ。

<http://www.jica.go.jp/volunteer/relevant/school/demae/>

JICA中国開発教育
支援事業のご案内

今年度からは教師海外研修の対象国が「ネパール」へ変更になります!
(※教師海外研修は学校にお勤めの先生が参加対象)

【研修のねらい】開発途上国の置かれている現状や日本との関係、国際協力への理解を深め、その成果を児童・生徒の教育に役立てもらうことを目的としています。

【平成23年度のスケジュール】

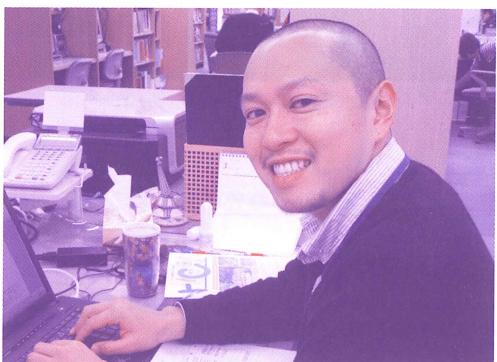
◎応募〆切	5月31日(火) 応募書類必着
◎選考及び決定通知	6月3日(金)
◎派遣前研修	6月18日(土)~6月19日(日)
◎海外研修	8月4日(木)~8月16日(火)
◎帰国後研修	9月10日(土)
◎9月以降	各学校での授業実践及び授業実践報告書作成
◎国際理解教育研修会	1月21日(土)

アジアやネパールでの研修に興味を持ったら
JICAデスクまたは
ネット検索⇒『JICA中国・教師海外研修!!!』

【さようなら】

3代目のJICA国際協力推進員の五十嵐静保です。3月末をもって任期満了となり、4代目に引き継ぎました。任期中はカンボジアスタディツアー等、HICとJICAの連携事業を担当させていただきました。また、来館者の方々から気軽に声をかけていただき、会話の中で学ぶことも多く、勉強になりました。

今後は今までの経験を生かし、微力ながら「身近な国際協力」に携わっていきたいと考えています。いつも笑顔で接してくれたHICスタッフの皆さん、そして来館者の皆さんのお陰で、楽しく充実した3年間となりました。本当にありがとうございました。



【こんにちは】

みなさん、こんにちは。4代目広島県JICA国際協力推進員の大塚善久です。私は2007年~2009年までの2年間、青年海外協力隊員としてアフリカ東南部のマラウイ共和国で村落開発普及員として活動しておりました。首都から100kmほど離れた村々を巡回しながら、主に農民グループの現金収入向上を目指した活動をしていました。

これからはHICの一員として、持ち前の明るさで職場も広島県も大いに盛り上げていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします！



JOCA（ジョカ）はJapan Overseas Cooperative Association（日本名：社団法人 青年海外協力協会）の略称で、開発途上国の人々のために自分のもつ技術や経験を活かし活動してきた青年海外協力隊のOB・OGを中心に組織されている、外務省認可の社団法人です。

青年海外協力隊で培った精神とその経験を広く普及するため、OB・OG会をはじめとする多くの団体とのネットワークを活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力の先駆者としてはもちろんのこと、国際社会における建設的な役割を果たせる、より有益な協力活動を展開していくことを目的としています。

【主な事業内容】

1. 国内協力活動：全国各地のOB・OG会がそれぞれの特長を生かした独自の活動を行っています。
(神奈川森林づくり 定着型ボランティア事業、JICA開発教育支援など)
2. 海外協力活動：途上国をはじめ、様々な国や地域の発展を支援。世界中を絆でつないでいます。
(マラウイ農民自立支援プロジェクトなど)
3. 災害時の支援活動：国内外で自然災害が起きた場合、JOCAでは必要に応じた支援活動を実施いたします。
(国際緊急援助隊への人的支援など)
4. JICAボランティア事業支援：JOCAではJICAより委託を受け、ボランティア事業に関する支援業務を行っています。

JOCA中国支部の事業紹介

- ・開発教育(国際理解教育)活動：セミナーの開催、教材開発、教材販売、教材貸し出しなど
- ・JICAボランティア事業支援：JICAボランティア募集説明会の業務などをサポートしています。
- ・地域国際活動支援／貢献：地域で国際ボランティアに関心をもつ方々と協力隊の特性を結びつけ活動のお手伝いをしています。
- ・NGO/NPO団体との連携：帰国隊員のネットワークを活用し、地域のNGO/NPOとの協働を推進しています。

JOCA中国支部の最近の活動状況

「あきたかた国際夏祭り2010」へのブース出展、広島市「国際交流・協力の日」への参加、「広島キャンパスフェスティバル2010」へのブース出展、JICA青年研修「フィリピン 戦後復興と平和構築」の実施、協力隊ナビ、など様々な活動をしています。協力隊についての質問や協力隊の経験を聞きたい！、なにか一緒にやってみたい等、なにかありましたら気軽に連絡してくださいね。



民族衣装パレードへの参加



世界の食べ物紹介ブース



青年研修ワークショップの様子

お問合せ先

社団法人青年海外協力協会（JOCA）中国支部

730-0017 広島市中区鉄砲町1-20 第3ウエノヤビル6階

TEL : 082-511-3340 FAX : 082-511-3342 <http://www.joca.or.jp/chugoku/>

Upcoming Events News No.116

平成23(2011)年4月分

※それぞれの会員限定のものもあります。主催者にお問い合わせ下さい。

日	内 容
24日(日)	<p>広島県国際交流協会 「4月講演会」</p> <p>A short discussion: global Internet freedoms A presentation entitled "The peaceful reunification of Germany" will be given by Mr. Johannes Schwarzwaldkirchertorte (Breit) [A Diploma Forestry Engineer and is studying Development policy at IDEC (with a specialization in Economics)] on April 24th, the fourth Sunday, at 1:00 PM in the Lounge. Before the speech, we will have a Karaoke lesson featuring the song "Chotto Matte Kudasai in English." Following the song, the above-mentioned concern will be discussed briefly.</p> <p>時 間：13:00～ 場 所：ラウンジ 尾道市久保3-14-18 問合せ先：広島県国際交流協会 松浦 TEL：0848-37-3518 e-mail : matsuuras2000@ybb.ne.jp URL : http://www.geocities.jp/matsuuras2000/</p>

平成23(2011)年5月分

日	内 容
8日(日)	<p>上田宗箇流和風会 「縮景園茶摘茶会」</p> <p>古くは八十八夜に広島藩・浅野家の伝統行事として行われていた茶摘行事を再現し、一心一葉の新茶を摘み取り、蒸して揉む作業を行い、新茶と抹茶で伝統文化に親しむお茶会を開催します。</p> <p>時 間：10:00～15:00（受付時間） 場 所：広島県縮景園 参 加 費：600円（別途入園料が必要） 問合せ先：上田宗箇流和風会 担当者 佐々木育生（事務局長）TEL：082-271-5307</p>
22日(日)	<p>広島県国際交流協会 「5月講演会」</p> <p>A short discussion: political turmoil in Japan A presentation entitled "Jordan and Israel" will be given by Mr. Chad Phillips [British, teacher of Higashi Hiroshima High School attached to Kinki University] on May 22nd, the fourth Sunday, at 1:00 PM in the Lounge. Before the speech, we will have a Karaoke lesson featuring the song "The Last Waltz." Following the song, the above-mentioned concern will be discussed briefly.</p> <p>時 間：13:00～ 場 所：ラウンジ 尾道市久保3-14-18 問合せ先：広島県国際交流協会 松浦 TEL：0848-37-3518 e-mail: matsuuras2000@ybb.ne.jp URL : http://www.geocities.jp/matsuuras2000/</p>

平成23(2011)年6月分

日	内 容
12日(日)	<p>上田宗箇流和風会 「縮景園田植茶会」</p> <p>五穀富穫を祈願して、古くから行われている田植行事を再現し、併せて茶会を開催し、日本の伝統文化に親しむ機会を開催します。新庄郷土芸術保存会による「新庄のはやし田」「南条おどり」の披露と、上田宗箇流青年部の早乙女が田植が行われます。田植の風物詩といえば早乙女。現在では目にする機会が少なくなった昔ながらの風景、花田植が披露されます。</p> <p>時 間：10:00～15:00（受付時間） 場 所：広島県縮景園 参 加 費：700円（別途入園料が必要） 問合せ先：上田宗箇流和風会 担当者 佐々木育生（事務局長） TEL：082-271-5307</p>

I LOVE EXCHANGE 国際交流最高！

「1月末行われた雪生活体験の楽しい一日」

By Greg Beck (筆者は表紙「雪生活体験」に参加)

Working at the Hiroshima International Center for these three years has truly been a blessing. As the resident English translator it can be hard. With a lot of last minute translation requests, long hours, and a constantly changing schedule it is impossible to commit to anything in my “free time”, because my free time is different every week! But, would I trade my experience for a “normal” Monday – Friday 9am to 5pm job? NO!



If you are a member of the HIC, then you probably already know about our various, annual International Exchange and Japanese Cultural Understanding Events. Many times, pictures from these events become the front page for this newsletter!

Most recently, I had the honor of working at the Life in the Snow Experience event for my third consecutive year. Even though I always have a wonderful time working at every exchange event, this was quite possibly the best event I have ever experienced! Here is what happened:

After driving two hours into the snowy north of Mizokuchi, located in Kita-hiroshima Town, we arrived at the Miwa-higashi Culture Center with participants from all over the world chatting excitedly in at least eight different languages. Outside more than one meter of beautiful, pure snow, had fallen on a hill with big, black inter-tubes, waiting to be used as sleds. After the opening ceremony inside, we split into two groups. A quarter of the participants went to the kitchen to make dishes from their home countries to share at lunch. Everyone else went outside to play in the snow. Also outside, some of the senior citizens had set up around the same rusty wood stove they do every year, heating sake in freshly cut, hollowed-out bamboo, and pouring the hot sake for anyone nearby



into more fresh-cut, bamboo cups. This year however, they had outdone themselves, passing out fresh-stewed wild boar ribs for everyone to snack on in the hours before lunch.

Our participants from 15 countries went wild playing in the snow, and sliding down the hill. This year a quiet old gentleman had made his own sled out of skis, and everyone had a turn on it. “Can two people sit on it?” asked two girls, “Yes, two people is best”, he said sitting down and beckoning the closest one to ride with him, completely oblivious to the thought they may have wanted to go



together!

Time passed quickly and at noon we all went inside for lunch and some amazing performances. The spread of Japanese food was amazing, with Indian curry, Chinese shrimp in chili sauce, Vietnamese fried spring rolls, and New Zealand no-bake cheesecake mix in among the dishes. While we all ate, I took several breaks to translate in between performances. After watching a traditional, Japanese, artistic dance, a Chinese participant played the Hulusi (a traditional flute), two, young, Korean ladies sang and danced, everyone did a Japanese folk dance, followed by a Scottish country dance, and for a finale, the local Kagura group performed an incredible play about a demon spider!



All day I kept pausing and thinking to myself, "I am so lucky", and "This is my job? Amazing!" Everyone did a wonderful job of teaching each other about their cultures. Not just foreigner-to-Japanese, but every one learned something about the different nations represented that day. I know people sometimes fear the unfamiliar, but this job has taught me that nothing is more fun than sharing and learning about different cultures.

Hirosshima Calendar

Date	Event	Location
April	15 People cross hot coals at Daishoin this festival! Will you?	Miyajima - Daishoin
	30 Onomichi Port Festival – Fun, Food, and Dancing!	Onomichi City
May	3-5 Hiroshima Flower Festival - Come to Peace Blvd. and enjoy the flowers, performances, food, and attractions!	Hiroshima City
	15-16 Fukuyama Rose Festival – Fun for All Ages!	Fukuyama City
June	3-5 Toukasan – Toukasan is a temple in Hiroshima City at the center of this summer yukata festival, dress up and dance!	Hiroshima City

Editor's notes:

Spring! Get out a blue tarp and enjoy some Sakura, or take a day trip for strawberry picking! Also try following @i_hiroshima on Twitter for event or tourism information. If you have any questions or comment, please email me at hic05@hiroshima-ic.or.jp

HICからのお知らせ

■留学生支援奨学金へのご協力のお願い

広島県内の外国人留学生数は2,000名を超え、引き続き増加傾向にあります。諸物価の値上がりの中で私費留学生の生活は以前にも増して厳しくなっています。このような状況の中で留学生が安心して勉学に励むため、財団法人ひろしま国際センターでは以下のような留学生への奨学金支給事業を行っています。皆様のご支援・ご協力をお願いします。

県民支援留学生奨学金（外国人留学生支援の会）

県民の皆様から1口5,000円／年のご寄附をいただき、頂いたご寄附を合わせて留学生1名当たり月額3万円の奨学金を1年間支給します。72口のご寄附が集まると1名の留学生に奨学金を支給することができます。ご寄附は随时受け付けております。

なお、当センターは、特定公益増進法人（所得税法施行令第217条第1項第3号及び法人税法施行令第77条第1項第3号に掲げる法人）として認定されており、ご寄附については、税制上の特例措置を受けることができます。



法人ひろしま国際センター
HIROSHIMA INTERNATIONAL CENTER

〒730-0037
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階
Crystal Plaza 6F, 8-18 Nakamachi, Naka-ku, Hiroshima 730-0037, Japan

ご質問・ご意見などご遠慮なくお寄せください
Any questions, suggestions, and criticism regarding HIC Tsushin can be addressed to:
TEL : (082) 541-3777 FAX : (082) 243-2001
URL (Japanese) <http://hiroshima-ic.or.jp/>
(English) <http://hiroshima-ic.or.jp/hice>
E-mail:hic@hiroshima-ic.or.jp

